

# 俳句をつくろう



## 俳句ってなに？

★見たこと、感じたことを短い言葉に表したものが俳句です。

あこのふるさと、松山のみんならう、俳句づくりは得意じゃう。みんなで俳句をつくってみんかな。

④ は 「はっ」と心に感じたことを

③ い いつなの？ 季節の言葉を入れて

② く 「句のリズム」は五・七・五

取り合わせ

一物仕立て

## つくってみよう 「取り合わせ」

故郷はいとこの多し桃の花 (桃の花・春) 子規

桃の花をふるさとに、いとこが多くらうよ。

## 「取り合わせ」ってどんな俳句？

★ 様子がよく分かる十二音と五音の季語 (季節を表す言葉) を合わせてつくる俳句のことです。

① 様子がよく分かる十二音のフレーズを考えます。

② 五音の季語を選びます。

○ 明日の遠足、晴れたらいいな。  
↓ 晴天の遠足の朝(十二音)

○ かけ算の七の段を全部に覚えたいよ。  
↓ ちかちかも言える七の段(十二音)

○ やったぞ、サッカーでシュートを決めたよ。  
↓ 勝ちましたシュート一本(十二音)

○ 今日習った漢字、十五画もある、覚えられるかな。  
↓ 「趣」は十五画なの(十二音)



かぜゆるま	花曇り
風がおる	水ぬるむ
雨がえる	青あらし
雲の峰	あめんぼう
天の川	赤いはね
すすきの穂	まんじゅう
きのこのす	たのじょう
夕ぐさのい	つばねのう

③ 十二音のフレーズと五音の季語を合わせて、よくあがり、五音の季語は、上か下におきましょう。

★ 晴天の遠足の朝かぜゆるま ★ 風がおるとちかちも言える七の段

★ 勝ちましたシュート一本天の川 ★ 「趣」は十五画なの(十二音)

## 十二音パツと合わせて五七五

季語をいろいろ変えてみて、想像がふくらむものを選びましょう。「や、かな」をつけて五音にしてもいいですよ。  
例 ひまわりや・夜長かな

**はる春**  
 山桜やまざくら  
 うつろか  
 フランソワ  
 やざかり  
 「ヤシンス

**なつ夏**  
 山したたる  
 ゆかた  
 ほたる  
 ソーダ水  
 南風みなまかせ  
 めだか

季語を調べるには「歳時記」が  
 ええぞな。  
 のぼさんの本① P.12 ② P.40

**あき秋**  
 山よそおう  
 へちま  
 さわやか  
 星月夜ほしづつばよ  
 台風たいふう  
 風の月かぜのつき

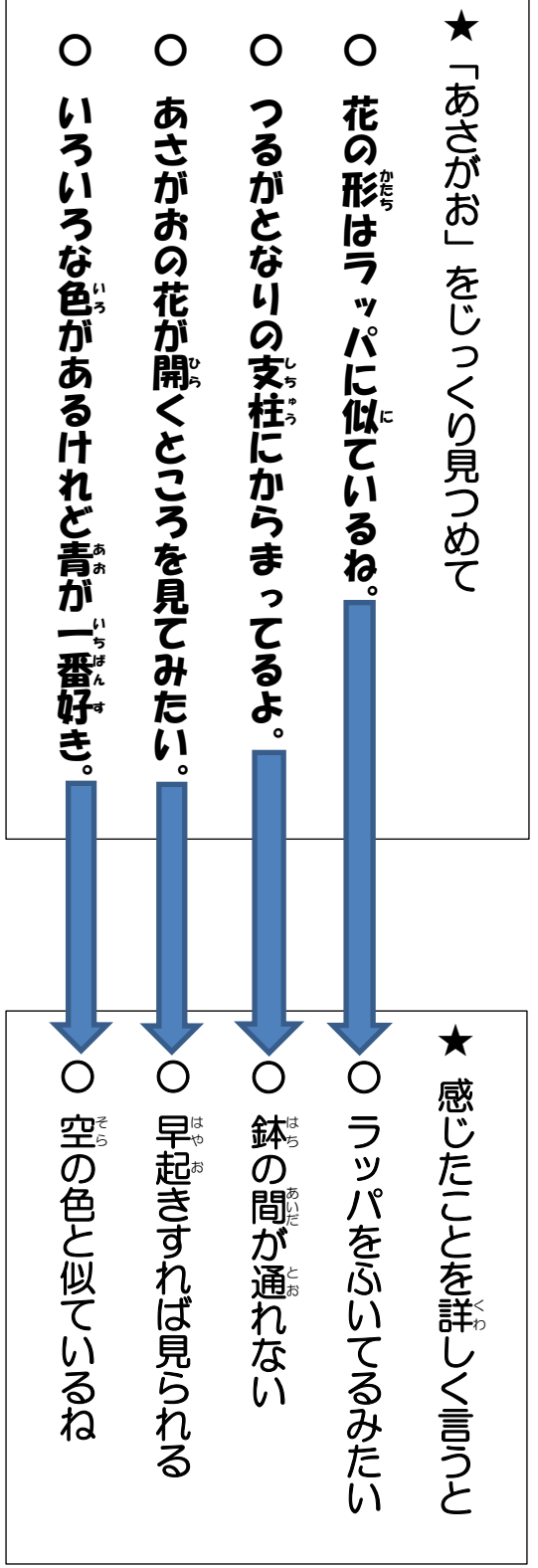
**ふゆ冬**  
 山ねむる  
 小春日こはるび  
 ひなたぼこ  
 マスク  
 さざんか  
 北風きたかぜ



俳句をもっと知り  
 たいなら、「のぼさん  
 と学ぶ俳句とことば  
 ①②」  
 「子規と考える言  
 葉・人・ふるさと」  
 を読んどっぴ。  
 ふるさとや俳句、  
 あにさんのことがよ  
 う分かる！

③ 自分の言葉で表す、ひまめがの。

★あむがのおのリップー吹ふき朝あまのび  
 ★あむがのおのしほはゆの道みち通とせはほ  
 ★あむがのおが空そら色いろ分わかけはひらひらひらひら  
 ★明日あしたロイン早起おきき競ましあむがのおひ



① 11のものをぐいぐい見せよう。  
 ② 心に深く感じた11を表す。

★「あむがのお」をぐいぐい見せよう。  
 ★「物仕立て」「してどんな俳句？」  
 ★ 11のものをぐいぐい見せよう。新あたらしい発見はっけんや心に深く感じた11があらわす。  
 それを十七音にまとめる俳句の11です。

白い牡丹しろうたんの花を見せよう。「白」は11のまはらるの「白」を見せよう。

白牡丹はくぼたんといふとへども紅べにほのか (牡丹・夏) 虚子きょし

知しることかな。虚子きょしさんは、あこの  
 友達ともだちぞな。俳句はく句づくりに上手うまじゃう。

「物仕立て」  
 「物仕立て」

